

【データ】

○被害状況とその対応を振り返る。

1) 2000年有珠山噴火旧虻田町の被害状況（単位は千円）

被害種別	被害の内容	被害額
住宅被害	全壊 118 棟 半壊 339 棟、一部破損 198 棟、計 655 棟	1,857,047
非住家被害	計 31 件	11,525
農業被害		168,659
土木被害	河川 2、道路 32、橋梁 2 計 44 件	3,567,276
水産被害	港湾、ほたて養殖事業	274,359
林業被害	一般民有林 30.06ha	135,474
衛生被害	水道 52 件・個人病院 8・一般廃棄物処理施設	9,343,470
商工被害	商業 51、工業 8	495,341
公立文教被害	温泉小・虻田中・温泉中・給食センター	1,473,803
社会教育施設	3 件	460,000
社会福祉施設	桜ヶ丘保育所・養護ホーム・特養ホームほか	641,461
その他	都市施設・町営浴場・消防庁舎・堆積土砂排除	6,720,782
(旧虻田町) 被害総額		25,149,197 千円
<p>※2000年有珠山噴火被害全体（伊達市、虻田町、壮瞥町）の総額は 25,962,848 千円であり、旧虻田町の被害状況は全体の 95%である。</p> <p>※1977年噴火の被害総額は約 222 億円で、その内訳は虻田町が 74 億円 (33.3%)、伊達市が約 89 億円 (40.1%)、壮瞥町が 28 億円 (12.6%)、洞爺村が約 31 億円 (14.0%)である。</p>		

2) 住宅被災見舞い金

被害種別	世帯数	原資	支給基準
住宅全壊	44 世帯	日赤見舞金	1 世帯 500 万円
住宅半壊	274 世帯	日赤見舞金	1 世帯 250 万円
借家全壊	216 世帯	日赤見舞金	1 世帯 80 万円
借家半壊	169 世帯	日赤見舞金	1 世帯 40 万円
合計	703 世帯		11 億 4540 万円

3) 国・北海道の災害関連事業

国・北海道の災害関連事業	概要
国道 230 号整備事業	H13～16 新ルート(トンネル建設)
道道洞爺虻田線改築事業	H13～16 避難道路
砂防施設整備事業	H13～17 洞爺湖温泉町 A・X ゾーン
虻田漁港分港整備事業	H14～21 大磯漁港建設

4) 町の災害関連事業

町の災害関連事業	実施期間	事業内容	
泉北地区防災集団移転事業	H13	土地の買い上げ。住宅等再建支援(見舞金)	
都市計画公園事業	H15～19	Bゾーン 3.52ha(地殻変動地区)	
公営住宅建設事業	H13～14	Aゾーン 148戸	合計 332戸
	H15～16	Bゾーン 184戸	

5) 民間の災害関連事業

民間の災害関連事業	時期	概要
特別養護(60床)養護(50床)	H13	泉地区から清水地区に移転
洞爺協会病院(公的医療機関)	H14	洞爺湖温泉町から高砂町に移転

6) 防災対策の強化

防災対策の強化事業	時期	概要
有珠山防災マップの作成配布	H13	3市町(伊達市、旧虻田町、壮瞥町)
有珠山火山防災計画の策定	H13	3市町防災会議協議会
虻田町地域防災計画の見直し	H14	広域避難場所・避難連携など
防災行政無線整備事業	H13	屋外無線・個別受信機・移動無線
防災センター整備事業	H13	消防庁舎・役場庁舎合築設計施行一括方式)
避難所機能施設整備事業	H14	洞爺湖温泉小学校を移転し、学校体育館に併設

7) 失業者対策

緊急地域雇用対策創出特別対策事業	
H12	300,000千円
H13	150,000千円
H14	36,000千円
総額	4億8,600万円

8) 観光振興対策

(1) 観光客宿泊者数の推移

観光客 宿泊者数の推移		修学旅行生 (対11年度比)
平成11年度宿泊者数	775,973人	8万6千人
平成12年度宿泊者数	307,079人(11年度と比較して39.6%)	0.0%(対11年度比)
平成13年度宿泊者数	619,873人(11年度と比較して79.9%)	18.4%(対11年度比)
平成14年度宿泊者数	717,791人(11年度と比較して92.5%)	50.0%(対11年度比)
平成15年度宿泊者数	736,556人(11年度と比較して96.3%)	68.0%(対11年度比)

洞爺湖温泉観光客入込み数 (単位:人)						
区分	平成9年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
総数	3,942,648	1,268,157	2,768,999	3,261,860	3,364,362	3,183,748
日帰り客	3,094,219	961,078	2,149,126	2,544,069	2,627,806	2,484,700
宿泊人員	848,429	307,079	619,873	717,791	736,556	699,048

(2) 火山資源を活用した観光振興策

火山資源を活用した観光振興策	
● 「洞爺湖周辺地域エコミュージアム構想の推進」	レイクトピア21 推進協議会を構成する胆振西部6市町村で推進・火山遺構や遺跡、自然、農場などを展示室とみなし、住民参加型でつくる「地域まるごと博物館」構想の推進
● 西山火口散策路の整備	H13～14 で整備 15 年度の入場者は 43 万 5 千人
● 西山高原・洞爺湖温泉砂防施設内の火山災害遺構物の保存整備	H15～
● 金毘羅火口～洞爺湖温泉砂防施設地域の散策路整備	
● 「洞爺湖有珠山」世界ジオパークに認定登録される	

(3) 2000 年噴火災害によって、高まった住民意識とまちづくりの活動

2000 年噴火災害によって、高まった住民意識とまちづくりの活動	
● 事業者が中心となり、避難先でつくられた「噴火再生住民の会」。30 回をこえる懇話会	
● 「温泉小学校の再建を考える会」で、行政の既成概念を変えた学校建設が実現 ・ 現在地から 4 キロ離れた地域に移転再建される。	
● 民間（住民）が主導で学者の協力を受け、行政を動かした「560 万人の観光地づくりワークショップ」の活動。8 回のワークショップ実施は毎回 100 人を超える。 ・ 砂防の常識を変える、砂防地内に噴火災害の遺構物を保存（4 点） ・ 有珠山周辺の河口を巡る散策路の探求とフットパス事業に結実。 ・ エコミュージアム（野外博物館）構想のきっかけをつくる。 ・ 世界ジオパーク認定条件の大きな要素にあげられる。	
● 「シャッターアート」で通りを明るくイメージアップ。札幌芸術大学の学生と住民の合作。	
● 洞爺湖「とうろう祭」を再開させた「とうろうを復活させる会」の取り組み。	
● 「有珠山知ろう会」～「有珠山ガイドボランティアの会」～「有珠山ガイドの会」へと発展	
● 「有珠山噴火メモリアル委員会」の活動（2001 年から 9 回開催） ・ 火山と共生するまちづくり ・ 全国の支援に感謝を込め、還元する	